

「都道府県水道ビジョン」作成の手引き	No	備考
都道府県水道ビジョンの趣旨		
・策定の必要性	1-1	
・対象地域	1-2	
・目標年度	1-3	
一般概況		
・地勢	2-1	
・人口	2-2	
・産業	2-3	
・水資源	2-4	
水道の現況		
・水道普及状況と施設数	3-1	
・職員の状況（事務職、技術職、技能労務職）	3-2	
・委託の状況（業務委託、第三者委託）	3-3	
・水源内訳（取水量）の推移	3-4	
・都道府県内クリプトスボリジウム対策実施状況	3-5	
・都道府県内簡易専用水道対策実施状況	3-6	
・都道府県内小規模貯水槽水道に係る条例等制定状況	3-7	
・都道府県内小規模貯水槽水道対策実施状況	3-8	
・都道府県内飲用井戸に係る条例等制定状況	3-9	
・管種別での管路布設状況	3-10	
・耐震管と非耐震管の構成	3-11	
・管路の経年化状況	3-12	
・施設の耐震対策実施状況	3-13	
・危機管理に関する計画・マニュアル策定状況	3-14	
・最近の大規模地震による水道施設被害状況	3-15	
・家庭用 20m3当たり料金	3-16	
・広域連携の状況	3-17	
・水道事業ビジョン（地域水道ビジョン）の策定状況	3-18	
・アセットマネジメントの実施状況	3-19	
・水安全計画の策定状況	3-20	
・耐震化計画の策定状況	3-21	
圏域の区分の設定		
・構成市町村	4-1	
・面積	4-2	
・人口	4-3	
給水量の実績と水需給の見通し		
・給水量の実績	5-1	
・水道水の需要予測と供給の見通し	5-2	
現状分析と評価、課題の抽出		
・水道サービスの持続性は確保されているか（運営基盤強化）	6-1	
・安全な水の供給は保証されているか（水道水の安全）	6-2	
・危機管理への対応は徹底されているか（危機管理・災害対策）	6-3	
将来目標の設定とその実現方策		
・水道の理想像の設定	7-1	
・理想像を踏まえた実現方策	7-2	
・実現方策推進の目標の設定	7-3	
・発展的広域化の推進のために取り組む方策	7-4	
都道府県水道ビジョンの策定のための体制及び策定後のフォローアップ		
・策定のための体制	8-1	
・フォローアップ	8-2	

富山県水道ビジョン（骨子案）		手引きNo	備考
第1章	富山県水道ビジョンの策定		
1.1.1	策定の趣旨	1-1	
1.1.2	本ビジョンの位置付け	1-1	
1.1.3	対象地域及び計画期間	1-2	
		1-3	
第2章	一般概況		
2.1	地勢	2-1	
2.2	人口	2-2	
2.3	産業	2-3	
2.4	水資源	2-4	
第3章	圏域区分の設定		
3.1	圏域区分	4-1	
		4-2	
		4-3	
第4章	水道の概況		
4.1.1	水道事業数	3-1	
4.1.2	水道の普及状況	3-1	
4.1.3	各ブロックの特色	－	以降の章とのつながりを考慮して、ブロックの特色を整理
4.2.1	施設数	－	基礎項目として追加
4.2.2	浄水方式と浄水量	－	基礎項目として追加
4.2.3	配水池滞留時間	－	基礎項目として追加
4.2.4	水源の状況	3-4	
4.3.1	浄水施設の経年化状況	－	管路の老朽化状況を記載するため、施設についても記載を追加
4.3.2	設備の老朽化	－	管路の老朽化状況を記載するため、設備についても記載を追加
4.3.3	管路の老朽化	3-10	
		3-12	
4.4.1	浄水施設の耐震化	3-13	
4.4.2	配水施設の耐震化	3-13	
4.4.3	管路の耐震化	3-11	
		3-13	
4.4.4	耐震化計画策定状況	3-21	
4.5.1	上水道事業の職員	3-2	
4.5.2	水道用水供給事業の職員	3-2	
4.5.3	簡易水道事業の職員	3-2	
4.6.1	経常収支比率	－	水道事業経営に関する代表的な指標の分析を追加
4.6.2	水道料金	3-16	
4.6.3	施設利用率	－	水道事業経営に関する代表的な指標の分析を追加
4.6.4	委託の状況	3-3	
4.6.5	広域連携に向けた取組状況	3-17	
4.6.6	アセットマネジメントの実施状況	3-19	
4.6.7	水道ビジョンの策定状況	3-18	
4.7.1	水質事故リスクへの対応	－	他事業体のビジョンを参考に追加
4.7.2	適切な水質管理	3-5	
		3-6	
		3-7	
		3-8	
		3-9	
		3-20	
4.8.1	危機管理体制の構築	3-14	
		3-15	
第5章	将来の事業環境の見通し		
5.1	人口	5-1	
5.2	給水量	5-2	
5.3	災害リスク	－	他事業体のビジョンを参考に追加
第6章	水道行政の現状と課題		
6.1.1	水道事業の経営悪化	6-1	
6.1.2	水道施設経年化	6-1	
6.1.3	職員の減少	6-1	
6.2.1	水源汚染リスクへの対応	6-2	
6.2.2	適切な水質管理	6-2	
6.2.3	専用水道、貯水槽水道等の衛生管理の充実・強化	6-2	
6.2.4	未普及地域への対応	6-2	
6.3.1	水道施設の耐震化	6-3	
6.3.2	危機管理体制の構築	6-3	
第7章	将来目標の設定と実現方策		
7.1	基本理念と理想像	7-1	
7.2	個々の水道事業体の具体的な取組方針	7-2	
		7-3	
7.3	統合・広域連携による運営基盤強化の方向性	7-4	
第8章	関係者の役割とフォローアップ		
8.1	関係者の役割	8-1	
8.2	フォローアップ	8-2	